地区名:堀田 No. 1 - 1

孔 番: HB-1

孔口標高: EL. 251.3m 掘進深度: GL.10.0m 本柱状図の深度:GL.0.00 - 3.00m

		本は状因の休及	:GL.0.00 - 3.00m			
深度(m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)
0.40	00	埋土	礫混じり腐植質シルト	濃褐	角礫混じり腐植質シルト	
	000				安山岩礫を含む砂質シルト 非常にゆるい	
1.00	0	崖錐堆積物層	礫混じり腐植質シルト	赤褐色		
1.95	00					
2.00	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	亜円礫層 (扇状地礫層)	亜円礫		全体に固結している 礫は、安山岩質 礫径は、主として2~10cm ただし、径50cm以上の礫も含まれる	

備考:	3.00	V (
	備考	:			

地 区 名: 堀田 No. 1 - 2

孔 番: HB-1

孔口標高: EL. 251.3m 掘進深度: GL.10.0m

本柱状図の深度:GL.3.00 - 6.00m

深度(n) 柱 状 図 地層区分 層 相 色 調 V V V V W 本体に固結している 課は、安山岩質 課径は、主として2~10cm		本柱状図の深度	:GL.3.00 - 6.00m				
(扇状地礫層) 亜円礫 灰-紫灰 全体に固結している 機は、安山岩質 機径は、主として2~10cm	深度(m) 柱 状 図	地層区分	層相	色調	記	事	採取試料(化石、炭化物等)
5.00	4.00 4.00 5.00	亜円礫層		灰~ 紫灰	全体に固結している礫は、安山岩質		
	6.00						

6.00		٠,				
/#	* .					
備	每 ⋅					

孔 番: HB-1

孔口標高: EL. 251.3m 掘進深度: GL.10.0m 本柱状図の深度: GL.6.00 - 9.00m

	Ī	本柱状図の深度:	GL.6.00 - 9.00m			
深度(m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)
7.00		亜円礫層 (扇状地礫層)	亜円礫		全体に固結している。 碟は、安山岩質。 碟径は、主として2~10cm。	
8.00	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	K-Ah火山灰層	シルト質火山灰	乳灰色	火山灰純層。未固結。上下境界は極めてシャープ。	火山灰分析実施
8.10	/::/				上方細粒化が見られる。	
		亜円礫層 (扇状地礫層)	亜円礫		全体に固結している。 礫は、安山岩質。 礫径は、主として2~10cm。	

9.00		
備 考:		

地区名:堀田

孔 番: HB-1

孔口標高: EL. 251.3m 掘進深度: GL.10.0m

本柱状図の深度:GL.9.00 - 10.00m

	本柱状図の深度 :GL.9.00 - 10.00m							
深度(m)	柱 状 図	地層区分	層相	色 調	記事	採取試料(化石、炭化物等)		
- 10.00		亜円礫層 (扇状地礫層)	亜円礫		全体に酸化しており、コアは脆弱化している。 礫は、安山岩質。 礫径は、主として2~10cm。			
-								
-								
-								
-								
-								
-								

備考:		